

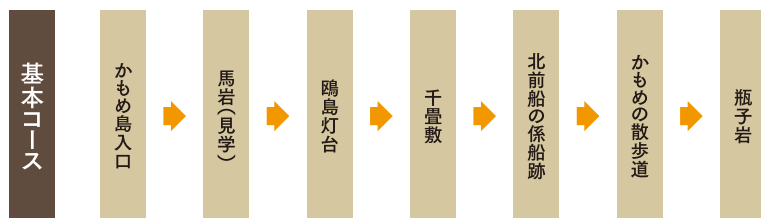
かもめ島～かもめの散歩道

どうなん・追分シーニックバイウェイ

自然と
景観の道 江差町

どうなん^{!!}フットパス
ROAD MAP

檜山道立自然公園の特別区域に指定されるこの島は、瓶子岩をはじめとする数多くの史跡や美しい自然景観に恵まれ、江差のシンボルとして親しまれています。それぞれのコースをテクテクと散策してみましょう。新たな発見?があるかも…。



- 時期/通年
- 歩行距離/約2.5km
- 所要時間/60分
- ガイド料金/1名 1,000円
- 申込方法/7日前まで下記へお問い合わせください。



■問合せ先/江差観光情報総合案内所(開陽丸記念館内)
TEL.0139-52-0117
江差観光コンベンション協会事務局
TEL.0139-52-4815



基本コース



義経と馬岩の伝説

江差の伝説では、源義経は衣川(岩手県)で討ち死にせず江差へ渡ったとされます。かもめ島の岸壁にある白い岩は、義経がさらに北へ逃げる際に残っていた愛馬が石になったものと伝えられています。

千畳敷

島の海側は、風や波により岩盤が削られて平らになっています。その中で、もっとも広い場所を千畳敷と呼んでいます。江戸時代中期の江差屏風には、千畳敷に桜を運んで宴を催す様子が描かれています。

鵜島神社

1615年に創建されたと伝えられる。航海安全の神として船乗りたちに信仰されてきた。境内には、加州(石川県)の船頭たちが寄進した石鳥居や、方が刻まれた手水石が残されています。

瓶子岩

神様から瓶子を授かった折居という姥が、瓶子の中の水を海に注ぐと、ニシンが群来て江差の人々の糧になった。そのときの瓶子が逆さまになり岩になったという伝説があります。

北前船係留跡

近代的な港が整備されるまでは、かもめ島が江差の港がわりでした。江差にきた北前船は、島の周囲に立てた木杭に綱を渡して係留していました。島は海側からの風を防ぐ天然の暴風壁でした。

【特記及び注意事項】

- ①利用料金等はかかりません。
- ②受付などはしておりません。ご自由にご利用下さい。
- ③かもめ島の島上へは徒歩で階段を上ることになりますが、その苦勞をするだけの価値のある、すばらしい景観を眺めることができます。
- ④北海道自然公園条例の規定により、指定された植物の採取又は損傷が規制されています。
- ⑤次の行為は禁止しています。直火、花火。
- ⑥ゴミは必ず持ち帰ってください。